

# APNICについて

前村 昌紀

JPNIC・IPアドレス検討委員長

APNIC理事

イクアント株式会社



APNIC

---

APNIC

## アウトラインのおさらい

- Asia Pacific Network Information Centre
- RIR(Regional Internet Registry)として、  
ICANN(Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)から直接IPアドレス管理の委任を受け、  
LIR(Local IR)に対してIPアドレスの割り振り  
(Allocation)を行う
- 他のIRと違い、NIR(National IR)という中間構造を持ち、  
各国のLIRに対するサービスの言語・文化的ギャップを吸収する。
- NIR, LIRをメンバとする会員組織



# APNICとは

Non-profit

- 非営利

Industry-based

- 業界(ISP)主導

Membership Organisation

- 会員組織

IP Address Management

- IPアドレスの管理

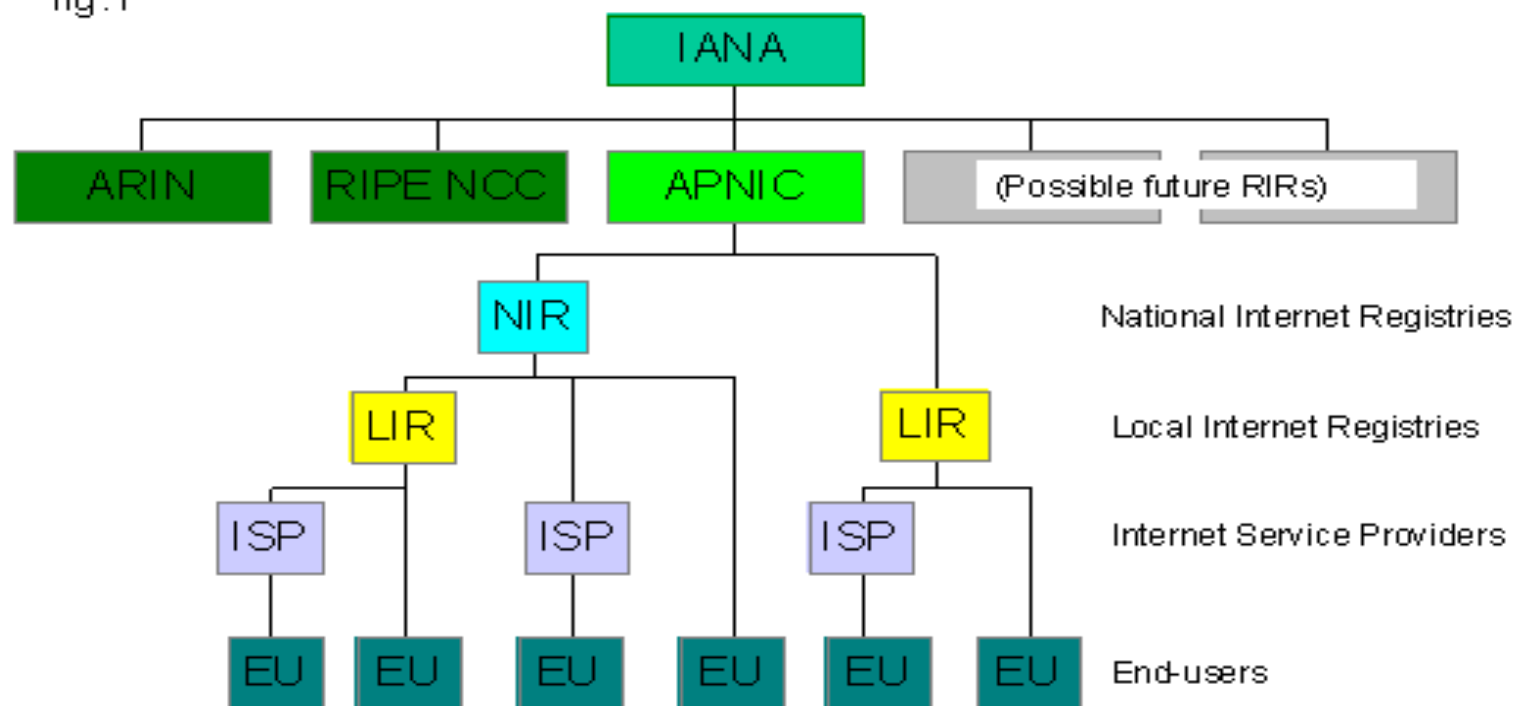


# 組織構造



# IR階層構造の中の位 置付け

fig.1



# RIRsとポリシー策定

会員をはじめとしてだれでもRIRにおけるポリシー策定に関わることができる

- ボトムアップで民主的なプロセス

オープンなミーティングにおけるコンセンサスを基にポリシーを策定する

- ICANNとのMoUで規定されている

RIRでコンセンサスに至ったポリシー案は、他のRIRでも議論され、グローバルポリシーの形成を行う。

3RIRsが主導し、ICANN ASOはそのコーディネーションを行う



# Open Policy Meeting(OPM)

年2回、アドレスポリシーの議論のため実施

提案は一般に募集され、自由に応募できる

- APNICメンバーでなくても(例えばJPNICメンバーでも)提案可能

2000年2月以来3回実施

- 議題提出と議論がますます活発に

Working Groupでの集中議論, ポリシ案提出も  
実現

- Broadband WG

# OPM・問題点と解決 策の模索

## Language Barrier

- AP地域は言語の宝庫・でも議論は英語
- APなのになぜかアメリカ人の発言が多い
  - Non-nativeにやさしい運営の模索

## 様々なタイプの発表・異なる承認レベル

- 報告あり, ポリシ提案あり, 予算措置が必要な施策あり
- OPMコンセンサス? 総会コンセンサス? 総会で投票して決議?
  - カテゴリ分けなど意思決定プロセスの整備の模索

SIG Chair Meeting を実施して検討を開始



# NIRスキームの問題 点

Confederation Member という制度

- LIR連合という位置付け
- ISP(=LIR)に極めて近い扱い

一般メンバの Membership Agreementは正式に総会承認されたが、そのレベルのNIRに関する決議、定義は未だない

議決権や会費のバランス

オーバーヘッドとローカライゼーションのバランス

# NIRスキームの改善

## Open NIR Meeting

- NIRに関して議論をするミーティング
  - ちなみに議長は前村
- “What is an NIR” を根底から考え直す作業を開始
- nir-discuss メールングリストでの議論も始動
  - だれでも加入可能

より理想的なNIRのあり方を探し当てる！

# NIRとAPNICの協力 体制

## レジストリシステムの開発連携

- NIRもAPNICもIRで、相似のレジストリシステムが必要
- IPv4は各自のシステムの開発・改善が完了している
- IPv6のレジストリシステムの開発を、APNICとNIRsで協力して進める

# まとめ

- APNICは3RIRsのひとつで、他のRIRとともにIPアドレス管理の方針策定に関してイニシアティブを取っている
- OPMでオープンに議論してコンセンサスに基づいて規則策定を実施する
- NIRのあり方を探り、より適切なNIRの扱いを検討中
- システム開発などを中心に、APNICとNIRの協力体制